



やるき
ほんき き さ き

木佐木

神奈川県会議員
日本共産党

2023.11.22
木佐木ただまさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021

Profile
▶1984年山口県出身
▶鶴見区馬場在住
▶神奈川大学法学部卒
▶よこはま健康友の会会長
▶横浜東民商顧問

国と地方自治体を動かして要求実現へ



県内市町村議員と国政予定候補が一堂に会し要望

若手官僚に地方の実態を伝え

11月20日、神奈川の共産党として毎年行っている、県内の市町村議員とともに自治体施策を前進させるうえで国の制度が立ちはだかつて実現できないものや国の支援の拡充を求める政府予算要望行動に参加をしてきました。私は、厚生労働分野と国土交通分野の要請で発言をしました。

こうした場に参加をする官僚は、まだ若く大きな権限を持っている人ではありませんが、若いからこそ、政権与党とは違う現場の声をしっかりと伝えることはこれからの国政にも重要な働きかけになると考えています。

医療費助成を国の制度として

厚生労働分野で特に求めたのは、小児医療費助成を国の制度として行ってほしいというものでした。実はこれはあくまで自治体が独自におこなっていて国の制度ではありません。今やすべての自治体が行っていると言われており、その必要性は疑う余地はありません。

驚いたのは、国が行わない理由として多額の財

源が必要になることや、受診行動への影響が考えられるからとのことでした。この回答に対して、「受診行動への影響とはコンビニ受診につながるの意味か？病気やケガしやすい子どもが迅速に医療につながることをネガティブな要素として挙げる認識は改めるべき」と訴えました。すでに自治体で行われているので、国の制度となっても受診が一気に増えると考え理由はないと思います。国の根本的な姿勢が問われています。

みんなが安心して使える駅を

もう一つ発言したのは国土交通分野で、駅の無人化の流れをとめることでした。以前にもニュースでお知らせしたように、駅の無人化や無人窓口化が県内約1/3の駅で行われています。

乗降客の多い桜木町駅や京急鶴見駅の窓口も無人化されているところがあります。

国交省からは、駅や窓口の無人化にあたって国のガイドラインを示しているのを徹底していきたいとの回答がありました。しかし、私が以前視察した県内の駅は、そのガイドラインに沿った対応をしていましたが、窓口には駅員がいないことで車いすの利用者はICのチャージや改札の通過で困難に直面する状況がよくわかりました。

障がい者も子どもも高齢者もみんなが安心して使える駅であるために、鉄道事業者だけでなく国としても人員を配置していくことを強く求めました。

